

只見町の四季が写真集に

「自然首都 福島県只見町の四季」出版

只見町の美しい風景や魅力を伝える写真集「自然首都 福島県只見町の四季」の出版を記念して、8月28日に東京の銀座クラシックホールで出版祝賀会を開催し、関係者など約200名が出版を祝いました。

写真集は、15年以上只見町の自然を撮影してきた写真家の林明輝さんに協力をいただき、ブナの原生林や会津朝日岳など只見町を象徴する景色が魅力的に撮影され掲載されています。

写真集は最寄りの書店で注文することができま



▲写真集を広げる林明輝さん(左)と目黒町長

3地区でもお元気だ

3地区で敬老会を開催

9月13日、3地区それぞれで敬老会を行いました。今年は見見・朝日・明和地区でそれぞれ約200名の方を招き、招待者の健康と長寿を祝い婦人会の皆さんや保育所の子ども達も踊りなどを披露しました。また、各地区駐在所の警察官の皆さんによる、なりすまし詐欺のお話や寸劇なども行われ、詐欺被害防止を呼びかけました。

敬老会に招待された皆さんは非常にお元気で、飛び入りで出し物を行うなど盛り上がった敬老会となりました。



▲只見地区の敬老会のようす

只見の民具を活用する

民具収蔵展示施設検討委員会を開催

8月28日、学識経験者や町民などが委員を務める只見町民具収蔵展示施設検討委員会による平成27年度第1回民具収蔵展示施設検討委員会が朝日振興センターで行われました。

会議では、民具収蔵展示施設整備事業にかかる経過説明と今後の方針が事務局の教育委員会から説明され、その後、委員から只見の民具の活用の仕方などについて意見が出され協議が行われました。

今後は、民具収蔵展示施設の基

本計画案について、検討委員会で協議してまいります。



▲検討委員会での協議のようす

只見町民具収蔵展示施設検討委員会委員 (敬称略)

氏名	所属
佐野 賢治	神奈川大学歴史民俗資料学研究科 教授
佐々木 長生	福島県民俗学会 会長
飯塚 恒夫	只見町文化財調査委員
新国 勇	只見町文化財調査委員
星 美弥子	会津只見考古館運営委員
目黒 良樹	会津只見考古館運営委員
佐藤 弘吉	大倉区長
山内 明生	明和自治振興会
菅家 忠	只見町観光まちづくり協会
今井 博	一般町民
齋藤 修一	教育長



▲更新されたCT装置

さらに詳しい検査が可能に 朝日診療所CT装置を更新

朝日診療所で使用していたCT装置を9月に高性能なものに更新しました。CTとは、コンピューター断層撮影法の略で、現在このCT装置は画像診断に不可欠な医療機器となっています。

今回、朝日診療所で更新したCT装置は、人間ドックなどでも行う内臓脂肪が測れるようになり、以前の装置よりも短時間の検査で広範囲を細かく撮影することが可能となり、患者さんの負担も軽減され、病気の早期発見・診断にたいへん有用なものになりました。

只見高校生2名が 夏休み期間中に海外短期留学

夏休み期間を利用して只見高校の八久保洋介さんと中山楓さんが約2週間イギリスへ短期海外留学をしました。これは、只見町と只見高校が連携して行っている事業で、留学費用などを町で補助しています。

留学を終え、八久保洋介さんは「海外の学校でたくさんの人と話し様々な事を学べ、とても良い経験がすることができました。」中山楓さんは「この留学では英会話の他、文化の違いなども学べ、とても大きな経験になりました」と話してくれました。



◀八久保洋介さんもイギリスでたくさんの友達ができたと話してくれました。

中山楓さんはホームステイ先でも楽しく過ごせたようです▶



海外との交流 只見ユネスコエコパークを視察

9月8日～9月10日の期間で、マレーシア、ブラジル、韓国より4名の方がユネスコエコパークとなった只見町を視察に来町されました。

現地視察として、只見町ブナセンターや、榎戸地区の観察林などを訪れ、ユネスコスクールに登録された、朝日小学校の授業なども見学されました。

今回の視察を終え、「帰国後、地域住民に日本の状況について話したい。また、只見町と今後もぜひ交流をしていきたい」と話されていました。



▲星木工所を見学する皆さん

第3回只見ユネスコエコパーク 推進協議会を開催

9月24日、只見町役場会議室で第3回只見ユネスコエコパーク推進協議会が開催されました。

会議では、まず、国内のユネスコエコパークの連携を促進する日本ユネスコエコパークネットワークへの参加が承認され、続いて推進協議会の諮問機関である支援委員会の委員へ福島県立博物館の小林めぐみ主任学芸員の選任が承認されました。最後に、只見町が今年度実施しているユネスコエコパーク関連事業の実施状況についての報告がありました。



▲推進協議会のようす